



こまがね子育て5つのみちしるべ

1の柱

生まれてた一つの命 社会の宝 地域みんな育てよう

自分の命、みんなの命、生き物の命、全てかけがえのない一つの命です。生まれてきた子どもたちが健やかに成長するために、子どもの最善の利益を第一に考え、誰一人取り残さず、地域及び社会全体で育ちを支える必要があります。

これからの子どもたちが自分らしく生きていけるよう、子どもたちをまんなかに据えて考えましょう。

2の柱

心を込めてあいさつすれば 広がる人の輪 深まる絆

「おはよう」から始まる家族のあいさつは、心の結びつきを強めてくれます。あいさつによって、相手の存在を認め、心を開くことで信頼関係が生まれ、そこから人と人とのつながりが大きく広がっていくこともあります。また、自分から素直に気持ちを伝えることで、大人が言葉で促すよりも、率先して家族や近所の人が周囲にあいさつする姿を見せることも大切です。思いやりや、認め合いによって家族の絆やコミュニケーションの大切さを学びます。

3の柱

早寝 早起き 朝ごはん 生活リズム 整えよう

規則正しい睡眠と朝食は、子どもが遅しく育つための第一歩です。子どもの頃に身に付けた生活リズムは、成長してからも崩れにくく、生涯にわたる生活習慣の基礎となるものです。また、正しい生活習慣を送ることで免疫力も高めることができます。

4の柱

家事・育児 家族みんな助け合い

家庭での役割を決めることで、責任感や自立心が育ちます。子どもは、頼りにされることで自分が必要とされている実感を得ることができ、「助かったよ、ありがとう」の一言で家族の一員であることを強く感じる事ができるでしょう。

家族や周囲の人を思いやる心を育てましょう。

5の柱

ゲームやスマホは時間を決めて 自然とふれあう群れ遊び

今やなくてはならないネット環境。子どもをタブレットやスマホから引き離すのはとても難しいことですが、家庭の中で双方が納得できるルールをしっかりと話し合ひましょう。また、駒ヶ根市にはすばらしい自然環境が整っています。自然の中の遊びは、子どもの社会性や生きる力を育てます。小さな頃から体を動かす習慣や、多くの体験をさせてあげましょう。